

## シンポジウム 27

### 総合診療の有用性とは？ ～エビデンスと目指すべきビジョン～

企画責任者：多胡 雅毅

(佐賀大学医学部附属病院 総合診療部)

#### 概要

近年、総合診療医のニーズが特に高まり、総合診療専門医、新家庭医療専門医、病院総合診療専門医などの専門医制度が開始された。これまでも総合診療は多大な功績を残してきたが、本邦の総合診療の有用性に関連するエビデンスは十分ではない。米国では豊富な研究成果の蓄積のもと、Hospital Medicineが目覚ましい発展を遂げている。本邦の総合診療がどのようなビジョンを持って発展していくべきなのか、また総合診療がどのように役立つのかについてエビデンスに基づく議論を深めることは現在の最重要課題である。

本企画は病院総合診療専門医の制度設計に深く関わるJUGLERが担当する。総合診療における①診断、②教育、③複雑困難な事例、④地域医療についてのエビデンスを紹介し、総合診療の必要性とその発展のために必要なエビデンスについて議論する。その上で、総合診療が目指すべきビジョンを提言としてまとめることを目的とする。